

# サイエンスとテクノロジーで 夢をかたちに

公益社団法人 応用物理学会

The Japan Society of Applied Physics

ダイバーシティ&インクルージョン委員会

Diversity & Inclusion Committee

<https://www.jsap.or.jp/gender-equality>



## ダイバーシティ&インクルージョン委員会の活動概要

Committee's activities for Diversity & Inclusion

### 活動目標

ダイバーシティ&インクルージョンを推進することにより、個が尊重され、各々の才能を十分に発揮できる社会の実現を目指し、様々な活動を行っています。応用物理学会内外での活動を通じて、男女に限らず幅広い分野での多様性推進、社会の活性化に寄与したいと考えています。

### 主な活動

応用物理学会では、様々なダイバーシティ&インクルージョン事業に先進的に取り組んできました。そのひとつが学会講演会期間中の託児室の運営です。2005年の春季・秋季学術講演会より設置された託児室は、毎回多くの方にご利用いただいており、講演会事業の一環としてすっかり定着しました。このような活動は、会員が所属する大学や企業においても、子供を連れて学会へ参加することへの理解が前進することにも貢献しています。



### 公開シンポジウム・無料チュートリアルセッションの開催

毎年、春季学術講演会でダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に関わる公開シンポジウムを対面とオンラインのハイブリッドで開催しています。シンポジウムでは、男女に限らず誰もが能力を発揮し活躍できる社会の実現を目指し、男女・文理・職種・国籍の観点からD&Iについて考えたり、若手研究者のキャリアパスや海外と日本の研究環境の違い等、様々なテーマを取り上げており、パネルディスカッションで参加者との意見交換も行なっています。

#### <最近のシンポジウムテーマ>

- 2021年: 時代の変革期こそ応用物理分野を輝かせよう
- 2022年: ジェンダー・イノベーションを通して考える応用物理の男女共同参画
- 2023年: 多様な視点から進むダイバーシティ&インクルージョン
- 2024年: 若手・氷河期世代・女性研究者の声はどこまで届いているか?

また、今年度からD&Iに関わるトピックスを取り上げて学びディスカッションを行う場として、無料チュートリアルセッションを秋季学術講演会中に開催しました。

#### <チュートリアルセッションのテーマ>

2024年: D&Iを目指す事例紹介: 「大学入試への女子枠導入」を経験して

### 表彰事業

女性研究者研究業績・人材育成賞(小館香椎子賞)を設け、2009年から2021年にかけて、研究業績部門12名、研究業績部門(若手)18名、人材育成部門6名を表彰してきました。2022年には、小館賞を発展させる形で、D&Iの推進を通じて応用物理分野の活性化を図ることを目的として、応用物理学会ダイバーシティ&インクルージョン賞を設立しました。



### 国際交流

2002年にInternational Union of Pure and Applied Physics (IUPAP) - International Conference on Women in Physics|日本物理学会と合同で参加・講演したのを皮切りに、定期的に同会議やGS (Gender Summit) 等に参加し、講演を行っています。

応用物理学会D&I委員会の活動紹介の他、各種データに基づく分析・考察を通じて、D&Iの現状と課題について国内外へ発信しています。



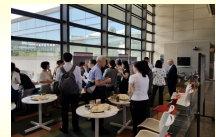
ICWIP2023の会場ポスターのイメージ

### 委員会の沿革

- 2001年2月 男女共同参画ネットワーク準備委員会を発足
- 2001年7月 「男女共同参画委員会」設立
- 2006年3月 「人材育成・男女共同参画委員会」へ発展的改称
- 2011年4月 「人材育成・教育事業委員会」へ改編
- 2012年2月 「人材育成委員会」へ改称
- 2015年3月 「男女共同参画委員会」へ改編
- 2022年3月 「ダイバーシティ&インクルージョン委員会」へ発展的改称

### ネットワークの強化

多くの会員に性別、国籍、分野を問わずにつながらいを作る場として、「NEWMAP (Network for Women and Men in Applied Physics) ランチ会」等の活発な議論の機会を提供しています。



### 勉強会・調査活動の実施と情報の発信

D&Iの現状把握のための勉強会やアンケート分析等の調査活動を行うとともに、これらの結果や委員会の活動について、定期的に学会誌「応用物理」に記事を掲載したり、学会のwebサイトの委員会ページに随時掲載する等、積極的に情報の発信を行なっています。

#### <最近の「応用物理」掲載記事>

- シンポジウム「ジェンダー・イノベーションを通して考える応用物理の男女共同参画」(春季学術講演会: 2022/3/24)【報告】(2022年91巻7号p.446-447)
- ダイバーシティ&インクルージョン委員会への名称変更とダイバーシティ&インクルージョン賞の新設(2022年91巻6号p.378-379)
- 中高生の進路選択において、理系選択者を増やすためには? (2022年91巻12号p.776-777)
- 男女間の積極的格差改善措置について考える(2023年92巻4号p.247-248)
- シンポジウム「多様な視点から進むダイバーシティ&インクルージョン」(春季学術講演会: 2023/3/18)【報告】(2023年92巻7号p.446)
- 数字でみる男女共同参画(4)(2023年92巻12号p.752-753)
- 「「応用物理」編集委員会企画・特別座談会」多様な研究者を生む!! (「応用物理」2024年93巻8号p.458)
- シンポジウム「若手・氷河期世代・女性研究者の声はどこまで届いているか?」(春季学術講演会: 2024/3/25)【報告】(2024年93巻8号p.503)
- D & I 委員会2023年度勉強会報告 ~インクルーシブな教育と雇用に向けて~ (「応用物理」2024年93巻6号p.367)
- International Conference on Women in Physics(ICWIP)参加報告(2024年93巻3号p.189)

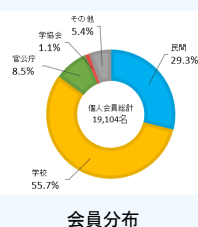
### 女子中高生の理系進路選択支援

女子中高生の理系進路選択の支援を目的として、2008年から「女子中高生夏の学校」へ参加しています。キャリア講演、サイエンスアドベンチャーでの実験、ポスターセッション等を通して多くの女子中高生の皆さんと交流し、応用物理の魅力を伝えています。

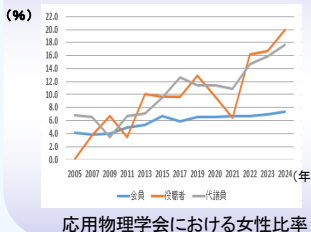


### 応用物理学会とは?

工学と物理学の接点にある最先端の研究課題、学際的なテーマに取り組み、日本の科学技術を牽引しています。会員数は約2万人で、大学・公的研究所の会員に加え、民間企業の研究開発部門に所属する技術者・研究者が重要な役割を果たしています。年2回の学術講演会は国内最大級で、海外の研究者も含めて約1万3千人(春秋合計)もの参加者が集まります。英国物理学会出版局(IOP Publishing)と提携して国際的英文論文誌JJAPとAPEXを刊行しています。



### 学会活動への女性参加の状況



応用物理学会員の女性比率は7%程度で、あまり高くはありませんが、会員に占める女性の割合、会長・副会長・理事等の役職者および代議員の女性比率のいずれも年々高まっており、2024年は役職者、代議員ともに過去最高の値となっています。今後、女性会員の活躍がますます広がっていくことを期待しています。

